



こんにちは
横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

北谷まり

発行：北谷まり事務所
2017年 1月25日号
横浜市保土ヶ谷区
上星川2-1-13
TEL：045-381-1713
FAX：045-381-1716

上郷のみどりを守れ

栄上郷町猿田地区開発計画公聴会 傍聴者で満席に

1月17日（火）夜、栄公会堂で横浜市が、栄上郷町猿田地区開発計画の公聴会を開催しました。固定席472席の会場は満席で、立ち見も出るほどの盛況でした。登山やアウトドアを愛する多くの若者も参集しました。党市議団からは、岩崎ひろし、みわ智恵美、宇佐美さやかの3議員が参加しました。

計画区域の約3割の自然が破壊

この計画地約32㌔は現在、開発が基本的にできない市街化調整区域に指定され、豊かな自然が残っています。市の計画では、約9.3㌔を市街化区域に編入して住宅地、商業地を開発するものです。計画地の約3割の自然が破壊されることとなります。

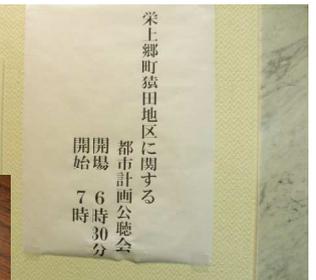
公聴会は、事業者の東急建設の開発計画提案を一部修正した市の都市計画（素案）に対して、市民が横浜市に対して意見表明する場です。公述申出者は一万人を超え、最終的に13人が選ばれ当日は、5人が賛成、6人が反対の意見を陳述しました。

7割の自然が永久的に残るといなが...

賛成派の意見をまとめると、開発は最小限に抑えられ、7割の緑地が永続的に保存される、一方、開発で地域が活性化するというものでした。

反対の意見は、11万もの反対署名に代表される市民の声が無視されている、緑地喪失は地球温暖化防止に逆行、人口減少・空き家増える地域で新たな宅地は必要がない、商業施設立地で車が増えてしまう、市街化うた拡散抑制や市街地縮小を謳う横浜市の都市

→公聴会入り口に貼られた案内紙＝17日 栄公会堂



←開発計画案図＝横浜市資料

計画マスタープランや国の国土利用計画に反する、谷戸の埋立造成は液状化など災害リスクが高い、みどり税は緑を守るためのもの、古代の製鉄遺跡は壊されてしまうなどでした。6人のうち、2人は若者でした。

市民意見の場、あと2回

横浜市は、この公聴会を受けて都市計画原案を作成します。この原案は縦覧に供され、市民意見を受付します。これを踏まえて、都市計画案が策定され、縦覧・意見書の受付と手続きが進みます。そして都市計画審議会に付議されます。市民が意見を表明できる場がこれから二回あります。

共産党は一貫して開発反対です。

上郷猿田地区は、横浜市が公費投入も含め、緑の全面保全に責任を負うべきです